

第4回 阿賀野川自然再生検討会

資料

満願寺地区河道掘削モニタリング結果速報



阿賀野川河川事務所

平成25年10月

1. 満願寺地区河道掘削モニタリング結果速報

- ・ 施工後約1年後に、魚類、植物の調査を実施した（調査日：H25年6月～8月）。
- ・ 造成されたたまりや水際のマウンドは、概ね維持されている。
- ・ 下流側のマウンドが一部崩れたことにより、増水時に本川と接続するワンドが形成されたていた。
- ・ ただし、上流側のたまりは水が少なくなることもあり、今後の整備では地盤をより低くさせることも考えられる。

施工直後（H24. 8. 23）



満願寺水位：約2.9m

魚類モニタリング調査時（H25. 8. 27）



満願寺水位：約3.6m

上流側たまり

下流側たまり→ワンド

上流側のたまりは、独立した水たまりとなっていた。

下流側はマウンドが一部欠損し、本川と接続して水交換や魚類の移動が可能なワンドとなっていた。

2. 満願寺地区河道掘削モニタリング結果速報(植物)

- ・ 植物調査は平成25年6月18日に実施した（今後秋季調査を実施予定）。
- ・ 地表面には、湿性の一年生草本のオオイヌタデ-オオクサキビ群落が広く分布していた。
- ・ 本川水際にはヨシがやや密に生育していたが、草丈は1m程度であった。



オオイヌタデ等の湿生の
一年生草本が分布

3. 満願寺地区河道掘削モニタリング結果速報(魚類)

- ・ 魚類調査は平成25年8月27日に実施した。タモ網、セルビンによる採捕を行った。
- ・ ワンド・たまりでは、モツゴ、トウヨシノボリ等7種の魚類が確認された。
- ・ 体長2~3cmの稚魚が多く、稚魚の成育場として利用されていた。

